

# 5月 高校総体結果報告

今年度は挑戦者として関東大会出場権獲得をめざして県大会に参加しました。

## 5月13日（水）書類提出日

- ・山行計画書を2部大会運営側に提出。締め切りに遅れて書類提出ができないと-2点減点からのスタートになります。各校顧問が顧問総会で提出をするのですが、顧問が提出を忘れると減点になります。北陵は問題なく提出。

## 5月20日（水）事前審査

- ・山行計画書の記載内容の審査を行います。大会参加校には事前に「審査要領」が配付されており、それにきちんと則った内容であるかの確認が行われます。今回は荒天対策と概念図（目的山域とコースの主要地点を書いたもの）がかなり厳しく審査されました。

荒天対策…大会当日の気象の過去の傾向を歩行するコースの地形と植生を考慮して「具体的に何を身を守るか」「撤退のタイミングはどこで判断するか」のシュミレーションができていないか。

概念図…①主尾根とコースをきちんと書いているか。（概念図を作図するときによくある間違いでコースを書いているが尾根が書けていないことが起こりやすい。）

- ②今回のコースは山頂を踏まずに近くにある避難小屋を通過するものだったが、記載するべき標高が山頂ではなく避難小屋になっているかどうか。

→北陵の事前審査は概念図の標高まちがいと比高図のスタート地点書き忘れで減点2点。

## 5月23日（土）大会初日@大滝キャンプ場



開会式前のスナップショット。選手に声かけたところ「結構楽しいです。」とのこと。雰囲気にもまれておらずとりあえず一安心。



【実技審査】天気図作図・天気予報

ラジオを聴いて天気図用紙に作図をします。作図した天気図をもとに天気予報を行います。ラジオの聞き取りが15分・作図と天気予報の時間が25分の計40分です。



天気図審査終了後は装備審査・読図審査（コンパスを使う知識）・幕営審査・炊事審査が立て続けに行われました。

→100点中60点／制限時間内に天気図を完成させることができませんでした。部分点を獲得。

## 【各審査の概要】

装備審査…3分以内に指定された個人装備を取り出せるか。指定された共同装備を持っているか。

\*ヘッドランプや携帯ラジオなどの動作確認/絶縁電化製品や寝袋・衣類などの防水加工を忘れると減点対象。  
→難なくクリア。

読図審査（コンパスの整地）…地図の北側と磁石の北側を合わせて指定された地図上の目標物の方角と磁北の西偏の角度を答えるもの。

→緊張で説明がうまくいかなかったらしく、ここは得点できず。

幕営審査…10分以内にテントが設営できるか。

→張り網の張り具合が今一つだったらしく、減点。

炊事審査…メニュー通りの食材を持っているか、衛生に配慮して調理を行っているか、安全に配慮して調理を行っているか、ごみを出さない工夫をしているか…など。

→ごみを出さない工夫と調理時の安全確保が不十分で減点。



幕営審査中の様子。



炊事審査の様子。



今回の山メシは定番メニューのカレーライスとモロキュウでした。  
生徒曰く「そういえばカレー作ってなかったじゃん ww」で決定。



19:30 消灯 マナー審査

消灯後に寝ているか、登山靴がテントの外に出ていないか、のチェックをします。次の日が大会のクライマックスで、3:30起床です。

5月24日(日)大会2日目

【選手の動き】

3:20 マナー審査つづき…起床前に起きていないか。→マナー審査は問題なし。

3:30 起床・テント撤収/炊事/荷物のパッキングを同時進行。

5:00 計量…パーティーの平均荷重が14kgであることが条件。14kgを下回った場合はその場で石や水が入ったペットボトルを入れて加重をしなければなりません。また、18kg以上になった場合は重量オーバーで減点になります。



計量審査の風景。このあと5:23に出発しました。(コースの様子は4月の下見山行を参考にしてください。)



14:30 過ぎ帰着。



帰着報告後、リュックのバランス審査を通過。

バランス審査…リュック内の荷物がバランスよくパッキングされているかを目視で審査。ゴール直前で選手が1名捻挫をしたようですが、最後まで歩ききりました（完走）。

35	36	37	
5:23	5:23	5:24	5
13:26	14:34	14:17	
0	0	9	

ゼッケン 36 が北陵です。山中の歩行はスピードを競うものではなく、安全に歩ききるまでの計画がきちんと立てられているかが重要です。道中には審査員が隠れていて、行動中の審査を行うほか、コース上にかけられたプレートが地図上のどこを指すかを特定する課題（読図）などが審査されました。

5月30日(土)大会3日目…課題審査@秦野高校

登山大会は実技審査の他、筆記試験が課せられます。科目は気象・救急法・読図を選手が1人ずつ担当します。



受付の様子。



審査会場の様子。(手前から救急法・気象・読図)



課題審査の様子。

課題審査の結果：気象…100点満点

救急法…79点

読図…66点（地図記号を覚える準備が間に合いませんでした。）

その他審査項目はいろいろありますが、審査の結果、今年度は何とか関東大会出場権を獲得することができました。なお、今回の結果に至るまでには大会に出場しない3年生や選手にならなかった2年生も同じ条件で下見に行っています。選手の事前準備はもちろんですが、裏で支えている部員の協力があって今回の結果に結びついたと思います。また、学校側や保護者の理解と協力という土台の上で活動をさせていただいているので、関係者各位にも感謝の気持ちでいっぱいです。

関東大会は他校との合同チームを編成しますが、今年度は平塚中等教育学校からお声がかかりました。10月末に東京都は伊豆大島で行われます。

今回の大会をとおしてもれなく準備をすることの難しさを生徒は肌で感じたようです。ここでの経験を部内で共有して安全登山の技量を高めていきたいと思います。

**ワンダーフォーゲル部の活動にご理解、ご協力、応援をいただきありがとうございました。**

ワンダーフォーゲル部顧問一同

次回は1年生のテント泊デビュー@箱根です。（雨天決行）